金子商会はお客様に
三つのゼロをご提案
・在庫コスト　ゼロ
・現場待ち時間　ゼロ
・現場の不満　ゼロ

がんばれ！

設備店さん

快適な暮らしは快適な現場作業から

営業時間　朝８時～夕方５時
月曜日～土曜日　祝日も営業中
祝日営業時間　朝８時～１２時（午前中のみ）
（祝日の配達業務は行っておりません）
日曜日は休業日とさせていただきます。

郵便番号　751-0859
山口県下関市川中本町２－７
株式会社金子商会　金子義亮

電話番号　083-253-1138
ファックス　083-253-2243
eメール　info@kanekoshoukai.net
ホームページ　http://kanekoshoukai.net

12　2018年　月号

今年もありがとうございました

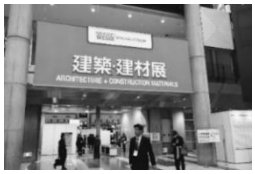
いつもお取引ありがとうございます。代表の金子です。年末ということで今年あった出来事を公私混同しつつふりかえってみました。

二月

山口県知事村岡氏二期目当選。平昌オリンピックで羽生結弦選手が金メダルを獲得。美しかったですね。

三月

日経メッセ建築建材展訪問



ついでにバルトンの墓参りをしました。下関だけでなく全国の水道事業にゆかりのある方なので、今後も行きます。

四月

事務所の無線ＬＡＮを新しくしました。十倍以上のスピードアップで快適に。

五月

会社のプリンターを新型に交換。伝票の印刷速度がちょっとだけ早くなりました。オキュラスＧＯというＶＲヘッドセットを購入。ネットで映画を見る回数がものすごく増えました。今年は２００本くらい見てます。

六月

日本ものづくりワールド２０１８　３Ｄ・バーチャルリアリティ展訪問。ものづくりの最先端に触れてきました。

六月一八日、大阪で震度六の地震を記録。小学生の女の子が倒れた壁の下敷きになって亡くなるということがありました。下関でも危険な場所があるということで、改築が進みそうです。

iPhoneXを購入。長年連れ添ってきたアンドロイドスマホとついにお別れ。ＦＩＦＡサッカーワールドカップ・ロシア大会で日本代表チームが決勝トーナメント進出。うれしかったですねぇ。

七月

家の冷蔵庫が故障。十五年近く使っていた冷蔵庫がついにダウン。電気屋さんにすぐ在庫があるわけではなく配達は２週間後。故障してから購入するのは中身の入れ替えが本当に大変。メーカーによると冷蔵庫の耐用年数は八年ということで、十年以上使用している場合は新品に買い替えが正解と本当に思いました。

八月

ドコモＩＤやアップルペイなどの電子マネーを利用を開始。スマホで電子決済というやつですね。便利です。また夏の甲子園大会で下関国際高校がベスト８になりました。

九月

三年に一度行われる国際物流総合展に訪問。まだまだ世の中は大きく変化していきそうです。関西空港が台風二十一号で水没、北海道でも震度七の地震があり多くの犠牲者が出ました。災害対策は今後もますます重要になっていきます。

十月

周防大島に掛かる橋に貨物船が衝突。送水管が破断しほぼ全域で断水という事件もあり。本復旧はまだ先。

十一月

スキャンスナップ四台目を購入、書類の電子化を進めると同時に日本経済新聞の定期購読をやめました。新聞読まなくなりました。

十二月

タレントの指原莉乃さんがＨＫＴ４８を卒業。いよいよ平成も終わり来年五月には年号も変わりますし、大きく変化する年になりそうです。

このような時代に合わせるかのように十二月六日、国会で水道法改正が成立しました。

今回の法改正の目的は「人口減少や頻発する災害に

水道法改正に向けて―これからどう変わるのか

対応できるよう施設の維持管理や修繕、計画的な更新を行うこと、中小規模の水道事業者の広域連携を推進することなどにより、水道の基盤を強化し、将来にわたり持続可能な水道とすること」とされています。ポイントは①関係者の責務の明確化 ②広域連携の推進 ③適切な資産管理の推進 ④官民連携の推進 ⑤指定給水装置工事事業者制度の改善、の五点です。ちなみにマスコミを賑わせている「水道事業民営化云々」というのは四番目の「官民連携の推進」というのがそれにあたります。

水道法が初めて制定されたのは六十年以上も前の昭和三十二年のことです。その頃の日本の水道普及率は５０％以下でしたので「安全で安定した水道が全国で同じように使えるようインフラを敷設すること」が法律制定の一番の目的でした。しかし水道普及率が頭打ちし、水道法の成立から半世紀が過ぎ、現在の問題点と合わなくなってきました。その目的を施設の維持管理や災害時の迅速な復旧を第一とする必要が出てきたのです。すなわち、水道管の延長（新設）よりも管路の維持管理にしっかりお金を投入できるように法律で決めますよというのがその趣旨です。

さかのぼること一四年前、平成一六年に厚生労働省は今後の水道に関する重点的な政策課題に対する施策を明示する「水道ビジョン」を公表します。さらに五年前の平成二十五年三月に厚生労働省が提示したのが「新水道ビジョン」です。今回の法改正はその「新水道ビジョン」を考慮して審議されてきました。つまり一五年以上もかかってやっと成立したのです。さらに言うと、この法案、二〇一七年九月の衆議院解散で一度廃案になっています。個人的にはむしろ時間をかけすぎているのではないかと考えています。

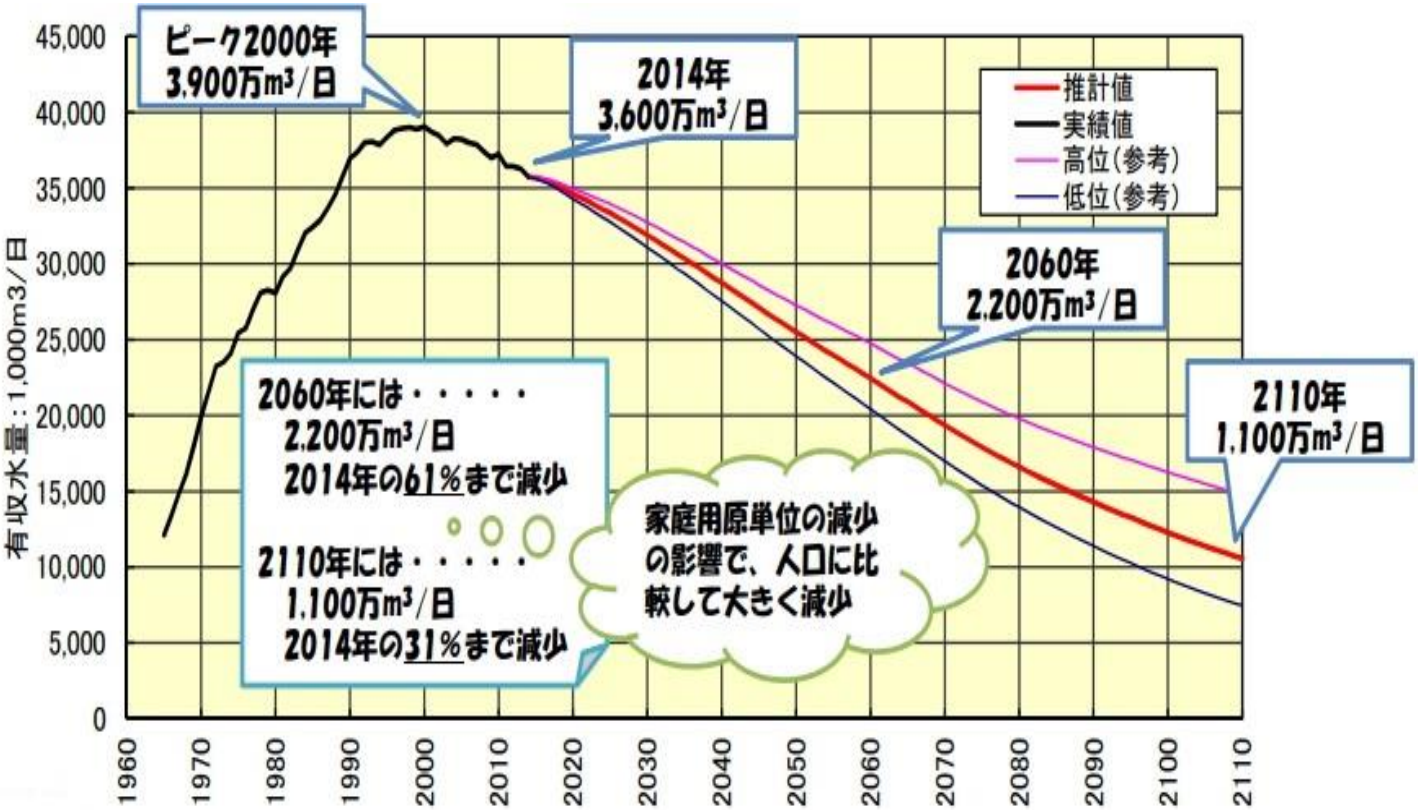
その内容を要約すると以下のようになります。

日本の水道システムは普及率のみならず、完成度も高い。漏水も断水もほとんどない。水道事業の敷設にあたって発生する莫大な初期コストを長い年月で回収するという特性は人口がどんどん増える時代には上手くまわっていた。しかし近年日本の人口が減少し、給水人口や給水量の減少を前提に老朽化した設備を更新しなければならなくなってきたこと、また東日本大震災の経験を踏まえ水道においても、これまでの震災対策を抜本的に見直す必要がある。

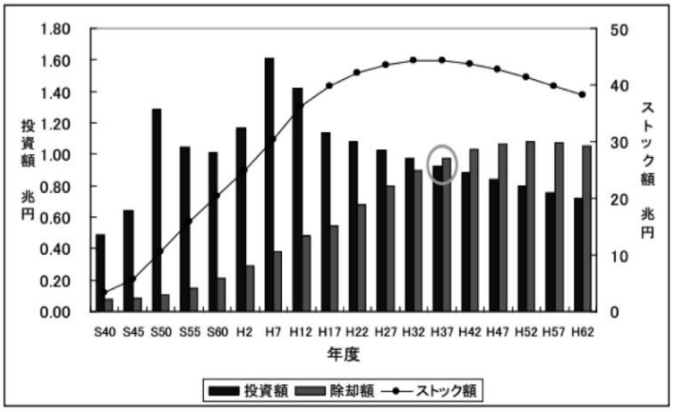
今後の水道設備の更新需要は年々増加し、二〇二〇年代から三〇年台にかけて更新需要のピークが来るのではないかということです。

日本全国隅々まで分け隔てなく、とにかく水道を引くということが、水道法の第一の目的でしたが、今後は災害に強く確実な維持管理を行うことを第一にしなさいという目的に変更したのです。

下のグラフは「水道法改正に向けて」というタイトルで今年の八月に厚生労働省が発表した資料から抜粋したものです。ピーク時二〇〇〇年に三千九百万あった水の需要が一一〇年後に千百万になるということです。ぱっと見るとものすごく大変そうに感じるこのグラフ、ほとんど意味がないと、自分はあえて言い切ります。



なぜなら、十年以上未来のことを現状と同じ条件のままシミュレーションしても意味がないと考えているからです。ましてや「今から百年後にこうなるかもしれないから対処しなければならない！」という論理には説得力が全くないと考えていいです。新しい技術を使った高性能の浄水器が登場するかもしれませんしダムに変わる低コストで効率的な治水システムも登場するはずです。例えば、最近十年の変化にしても携帯電話の普及やスマートフォン・インターネットの普及など、新しい技術によって　社会生活が大きく変わっています。十年以上未来に対しては楽観的に考えるくらいがちょうどいいのです。エネルギー問題にしても十年二十年後に新しい発電システムや蓄電・送電システムが登場するでしょう、もちろん、ものすごい災害に見舞われ天変地異があるかもしれません。しかし五十年後こうなるとか、孫の世代が大人になるころにはこうなってしまうとかは、話半分、もしくは十分の一くらいに聞いておいてネガティブになる必要はないと思います。



今のところ水道法改正に対して、新聞やネットで意見を出しているのは○○労働組合とか日本□□党とかの方々ばかりで、あまり参考にはならないと思います。

ただ十年以内に多くの自治体で水道事業が経営悪化しそうなことはほぼ間違いないようです。下関水道局も水道施設を修繕しようにもお金がないという状況がでてきそうではあります。水道料金だけで維持管理ができないときは当然税金を投入するしかないのですが、その税金も少なくなってきています。はたして何かあったときに税金で面倒を見ることができるのでしょうか？反対すればいいというわけでもなく「今のままでいい」「変わる必要なし」なんて言っている人は足元が全く見えていないか他人事としか考えていないとも言えそうです。「海外の事例ガー」と反対している議員さんもおられますが、実際に現地を視察したり関係者の話を直接聞いたりしている人も少ないようですし、メリット・デメリットなど多角的な視点で物事を捉えず、一面的な自分の主張にとって都合のいい意見や資料だけを取り出して議論をしているようにも思えます。

与党も情報発信が不十分です。ホームページを見る限り水道法についてきちんと説明しているとは言い難いので、もっと情報を充実してほしいと思います。

そもそも水道法を改正する必要があったのか。人口減少に伴う水野需要の減少、水道施設の老朽化、人材不足などの問題に対し、水道の基盤の強化をはからなければならないけれど、コンセッション方式と呼ばれる民営化の手法は本当に効果があるのかどうか？水道業界の一端に属する企業としてはまだまだ勉強をしなくてはいけないと考えております。

そのためにも実際に現場へ行って話を聞いたり、そもそもニュースや何かの意見を読んで判断するときに、「危険だ！」「許すな！」「水道代が何倍にもなる！」などのようにやたらと！マークが多く、危機感を煽る乱暴な不安感を募らせるような表現に惑わされることなく判断できるようにならなくてはなりません。

水道は民営化がいいのか、公営がいいのかは、そこに暮らす人々が自分で考える必要があります。「民営化するかしないか」というような二つに一つと単純化できる話ではありません。自治体ごとでも変わってきます。人口が三百万人以上いるのか、千人もいないのかなど、それぞれの地域でビジネスモデルが変わる以上、解決法の方向性を一つにしぼることなんてできないのです。

水道事業者の　更新制度開始

平成八年に指定給水装置工事事業者制度が制定され、それまでまちまちだった指定要件が全国統一化され国家資格化されました。資格保有者は平成九年の約二万五千人から平成二十五年には二十二万八千人と約九倍になりました。ところが近年、連絡の取れない事業者が増えたり、無届け工事や構造材質不適合などの違反行為も増えるのなどの問題が増えてきました。

今回の改正では工事を適正に行うための資質の保持や、実態との乖離の防止を図るため、給水装置工事事業者の指定の更新制（五年に一度）を導入し、施工のための機械器具を有するものであることや講習会への出席、修繕対応の確認などが検討されています。更新しなければ資格を停止するというような制度になりそうです。今後情報収集や課題の洗い出し、制度の具体的な手法や周知方法などが推進されると考えられます。

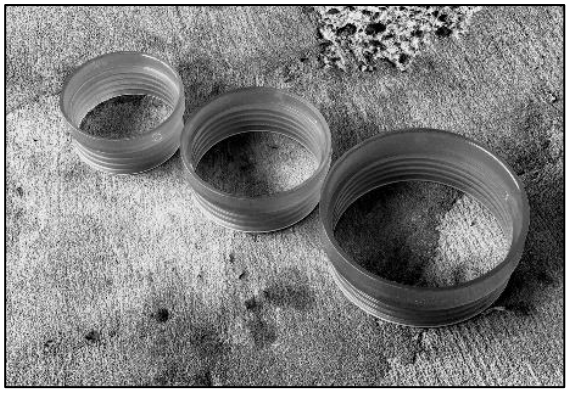
更新制度はすぐ始まるというわけではありませんが、五年はかからないと思います。再試験があるかどうかは今のところ未定ですが今から対策を練る必要はありそうです。

お知らせ

■未来工業ドレンホースキャップ　ネオクリア　新発売

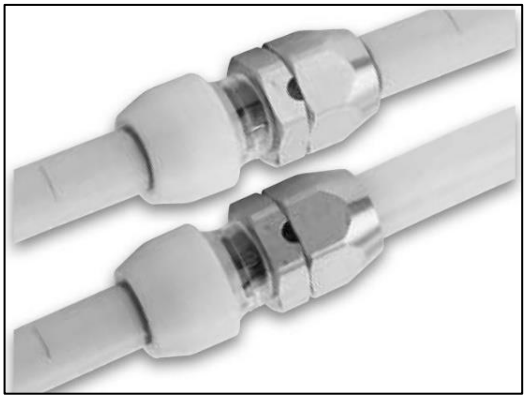
空調機のドレンホース先端に使用します。

■透明嵩上げパイプ
125・150・200
在庫中です。



マス立上管の嵩上げや高さの微調整に便利。1センチ刻みの溝がついているので切断が楽。段重ねもできます。

■プッシュマスター
新旧ポリブテン管
変換継手、在庫開始



ブリジストンが旧サイズの13Aのポリブテン管に対応するための変換継手を発売。今まで総引き換えするしかなかった旧サイズのポリブテン管を利用することができるようになりました。変換継手常時在庫しております。

ここでは弊社で常時在庫している部材や新商品・お取り寄せ資材などの情報を紹介しています。在庫ご希望の品物がございましたらご連絡ください。

のんびり日記

今月も金子商会をご利用いただきありがとうございます。早いもので今年もあとわずかとなりましたね。

先日、太宰府天満宮にお参りに生きました。長女が高校受験ということでお守りを買ったりしました。受験まであと二か月、まぁなるようになるのでしょう。

それはそれとして、先日映画や舞台を続けて見る機会がありました。

劇団四季の「ライオン・キング」映画「ボヘミアン・ラプソディ」「来る」の三作品です。それぞれミュージカル、ドキュメンタリー風、ホラー映画と演出手法はまちまちだったのですが、自分はある共通点を見出していろいろと考えてみました。（以降多少ネタバレを含みます）三つの作品に共通していることとして、「子供を助けるのは肉親、実の親ではない」ということです。

「ライオンキング」では主人公シンバは、幼い時に父ムファサの死をきっかけに家出をします。行き倒れて倒れたところをミーアキャットのティモンとイボイノシシのプンバァに救われます。

ホラー映画「来る」では少女を救うのは子育てブログを書くイクメンパパでもその妻でもなく、友人の知り合いに紹介された霊能力のあるキャバ嬢の真琴でした。

ボヘミアン・ラプソディの主人公であるフレディーは自分の名前を捨て、妻メアリーと離婚します。フレディが亡くなる最後の時まで共に過ごしたのはジム・ハットンという人物でした。

これからの物語は「親子の愛」とか「夫婦の愛情物語」というようなありきたりなテーマではないように感じたのです。働き方改革であるとか男女平等参画社会であるとか待機児童ゼロを目指すとか、女性が輝く日本をつくるとかいろいろ対策が練られていますが、なんというかゼロベースで考える基盤のようなものができつつあるのかもしれません。「血は水よりも濃い」とも「生みの親より育ての親」とも言います。いろいろな「正しさ」「答え」の選択ができる世の中になっていきそうだなぁ、なんてことを考えたりしたのでした。

金子義亮